

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表日

令和3年12月28日

事業所名

杉並区立重症心身障害児通所施設わかば

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	11	1	0	・コロナ禍で、ある程度距離を保つ必要があるため、状況に合わせて部屋の使い方を工夫している。 ・もう少し広いとベストと思うが、狭い中で工夫している。 ・現在、ソーシャルディスタンスをとっているため、親子通園日は狭くなる。向き合わないよう工夫している。	・コロナ禍のため、子ども同士の距離をとるだけでなく、顔の向きを変えるなどの工夫をしています。
	2 職員の配置数は適切である。	11	1	0	・通園児の人数やケアの必要性に個々の差が大きいため配置人数を状況に合わせて調整している。	・人の配置は適切だが、距離をとることで見守りがしにくい時は、子どもの様子がわかるように配置を工夫しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされている。	9	3	0	・集中することが難しい児に対しては、衝立を使用したり、便座に座れないがトイレの自立が可能な児には、身体に合ったトイレ環境を整備している。 ・場所によっては、適した室温が保ちにくい。 ・重症児のため臥位の時間が長い床が板のため、冬は寒く、暖マットで工夫している。 ・座位保持に座ったまま、手洗いができる設備になるとよい。	・サーキュレーターを活用することで、室温が一定になるように工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	11	1	0	・限られたスペースの中で、日々の通園(出席)メンバーに合わせて、過ごしやすいうように物の配置を変更したり、パーテーションを使用する等の工夫をしている。 ・掃除が徹底されるため、毎日清潔な空間が保たれている。 ・室温調整が難しく、寒かったり、暑かったりする。	・子どもたちによってパーテーションの活用やマットの位置を調整し、一人ひとりが心地よく過ごせるように工夫しています。
	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している。	12	0	0	特に意見なし	
業務改善	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	11	0	1	・評価の結果を保護者会の中で説明している。	・事業所内会議で検討しています。欠席者について議事録だけでなく検討内容がわかるように共有していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	11	0	1	・事業所の中では、廊下に掲示板を設け、貼り出している。	・廊下の掲示やHPの掲載について、職員へ周知していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	11	0	1	特に意見なし	・3年に1回受審している第三者評価結果と事業計画の位置づけについて、いつでも見られるように工夫していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	12	0	0	・年間計画を立て、月1回の事業所内研修を実施。PTやSTによる実演も行っている。 ・定期的に研修できている。 ・月1回、事業所内研修を実施している。	
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	12	0	0	・年1回の発達評価や個別リハビリ、摂食評価など、専門分野を多角的に総合的に捉え、計画書につなげている。		
11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	11	0	1	・発達検査では、子どもの状態に合わせて、ツールを使い分けている。	・各専門職が実施しているアセスメントシートが共有できるように取り組みます。	
12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び以降支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	12	0	0	・項目については、計画作成時に保護者へ伝えている。		
13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	12	0	0	・実施項目のチェック欄を設け、各専門職が定期的に記録を確認し、実施状況をチェックしている。 ・療育前に支援計画書を確認し全員が介入できている。		
14 活動プログラムの立案をチームで行っている。	12	0	0	・保育士と児発管で立案し、活動内容によって、看護師、リハビリ、心理者と相談している。 ・他職種と相談し、子ども一人ひとりが楽しめる活動をしている。		

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園児の興味、発達に合ったものを取り入れるようにしている。</li> <li>・活動が導入から展開まであり、それぞれが理解しやすいように工夫され、内容も毎回工夫している。</li> </ul>	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園時間に合わせて、午前、もしくは午後に個別活動を取り入れている。</li> <li>・子どもの特性を考え、毎回、活動内容を工夫している。</li> </ul>	
	17	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のミーティングで確認できている。</li> </ul>	
	18	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、振り返りを行い、今日の様子を報告し、次につなげている。</li> </ul>	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援記録、医療記録、連絡票に日々の記録をしている。支援記録は目標ごとに記録できるような書式にしている。</li> <li>・支援計画書に基づき、支援記録を記入し、共有できている。次につなげている。</li> </ul>	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とのモニタリングは6ヶ月に1回もしくは随時行っている。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長が担当している。</li> </ul>	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供を頂いたり、必要時に送ったりして進めているが、連携ができているかは不明。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携については、引き続き、事業所内会議や支援会議、毎日の振り返りで共有していきます。</li> </ul>
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で現在は中止しているが、近隣の幼稚園、保育園と定期的に交流の機会を設けている。</li> <li>・区の看護師連絡会や重症児三園の連絡会に参加している。</li> </ul>	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、嘱託医が園を訪問し、健診や健康相談等を行っている。相談事があれば随時看護師が電話で相談できる体制にしている。</li> <li>・月1回嘱託医の訪問、年2回の内科健診、必要時は主治医へ診療情報を依頼している。</li> </ul>	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達状況や転居等の理由で他施設に移る際は、直接的なやり取りや書面で引継ぎを実施している。</li> </ul>	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学先の担当者が園を訪問し、直接、児の様子を見学したり、職員や保護者と情報共有する機会を設けている。</li> <li>・保育園の専門職と交流ができるようになるとうい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校への引継ぎについては随時連携して支援しています。今後は他事業所の専門職と交流できる機会についても検討していきます。</li> </ul>
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区のセンターから研修等の便りが送られ、希望者は参加している。</li> <li>・研修を受けることができるシステムを整えている。</li> </ul>	

<p>連携</p>	<p>28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。</p>	<p>9</p>	<p>3</p>	<p>0</p>	<p>・現在、コロナ禍のため交流は少ないが、散歩中など声かけし、挨拶するようにしている。 ・多いとはいえないがある。 ・コロナのため交流ができていないので、早く例年通り交流ができるようになるとうい。 ・コロナ禍であり、交流は難しさがある状況。この状況以前は、できていた。 ・コロナ禍のため今は実施していないが、落ち着いたら再開する予定。 ・コロナ禍においては機会が減っているが、通常は行事や散歩などで交流を深めている。</p>	<p>・感染症の状況を判断し、徐々にこれまでの交流の形が再開できるように検討していきます。</p>
	<p>29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。</p>	<p>10</p>	<p>1</p>	<p>1</p>	<p>特に意見なし</p>	<p>・地域の中学校区の協議会や児童館の子ども見守り部会、区内の社会福祉法人の連絡会に参加しています。各会で検討していることは適宜事業所内で周知していきます。</p>
	<p>30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。</p>	<p>12</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>・日々の様子を保護者へ伝えられており、保護者からも様子を聞くことができている。 ・ベアトレは十分ではないかもしれないが、各専門職が保護者の支援につながることは伝えている。</p>	<p>・保護者支援については、事業計画の年間計画に位置付け、職員間で取り組みが共有できるようにしていきます。</p>
	<p>31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。</p>	<p>12</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>・集団活動の中ではSTによる口腔体操、PTIによるストレッチ指導、個別活動の中では各専門職の作ったプログラムを指導することで、家庭でも実践できるように支援している。</p>	
	<p>32 運営規程、利用者負担について丁寧な説明を行っている。</p>	<p>12</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>・初回の面談の際に行っている。 ・丁寧に説明できていると思う。</p>	
	<p>33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。</p>	<p>12</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>・計画書を示し、具体例を出しながら説明を行っている。疑問等は、その都度丁寧な回答を心がけている。計画変更時は同意を得て、サインをもらってから実施している。 ・保護者に丁寧に説明し、保護者の意見や要望も聞き取りができていると思う。</p>	
	<p>34 定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。</p>	<p>12</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>・保護者とのやり取りの中で気になることがあれば、心理師との心理相談の場を設けている。 ・保護者の悩みにより、必要な場合は、専門職の助言や支援につなげている。</p>	
	<p>35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。</p>	<p>12</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>・卒園児の保護者が立ち上げた父母の会では休業日に施設を開放し、会場として場所を提供している。 ・園長を中心に父母会とのつながりももっている。個人的には父母会とつながりはもていない。</p>	<p>・親子の会の活動について事業所内で共有するとともに、事業所の行事の中で親子の会として参加できる企画を検討していきます。</p>
	<p>36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。</p>	<p>12</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>・その場で意向を確認し、すぐ回答が難しい状況であれば、いつまでに回答できるか明確に伝え、対応している。</p>	
	<p>37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。</p>	<p>12</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>・月1回、園だよりを発行し、情報発信をしている。</p>	

保護者への説明責任等

	38	個人情報の取り扱いに十分注意している。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マークなどを用いて個人名を書かないようにしている。</li> <li>・個人情報の書類を事務所から持ち出す際は、取り違いや他の保護者から見えないようにする等、注意をしている。</li> </ul>	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情や小さな動きなど児の意思を読み取るようにしている。</li> </ul>	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	11	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年、地域に開かれた行事を年2回開催している。今年度は、コロナのため中止。</li> <li>・餅つき、夏祭り等で、地域との関わりをもつようにはしていたが、コロナのため縮小している。</li> <li>・コロナのため、地域の方を招待する行事ができなかった。</li> <li>・コロナ禍のため不十分。以前はできていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の状況を見極めながら、徐々に地域の方が参加できる行事を再開できるように検討していきます。</li> </ul>
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の事業所内研修でマニュアルを用いて実施している。</li> <li>・マニュアルを基に訓練している。</li> </ul>	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回実施している。</li> <li>・避難訓練を実際の災害を想定して行っている。</li> <li>・月1回の避難訓練では、その日に通園している保護者にも参加していただいている。</li> </ul>	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ファイルで医療情報を確認している。</li> <li>・チェックリストなど個々のものがあつたり、看護師により申し送りなどしっかりできている。</li> </ul>	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードの名前マグネットで、共有して確認できるように工夫している。</li> </ul>	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	10	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書を作成し、対策を話し合い、共有できている。</li> <li>・気になることを出し合う場や虐待についての研修をしている。</li> <li>・その都度、会議を行っているが、事例集として共有することはできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットは、その都度、勤務者間で検討し、事業所内で共有しています。今後、ヒヤリハットの発生状況別に整理していくことについて、検討していきます。</li> </ul>
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内研修の中で実施している。</li> <li>また、月1回の事業所会議で虐待防止委員会を開催している。</li> </ul>	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	11	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内研修の中で実施している。</li> <li>また、月1回の事業所会議で虐待防止委員会を開催している。現時点で身体拘束が必要な通園児はいないため該当しないが、そのようなケースがあった際の対応方法については共有できている。</li> <li>・目的や必要性などを話し合い、共通認識をもっている。</li> <li>・身体拘束を行うケースはない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内会議において、虐待防止委員会を開催しています。引き続き、子どもたちの行動を制限することなく、安全に活動に参加できるよう検討していきます。</li> </ul>